

令和6年度広島県生活支援コーディネーター養成研修実施要領

1 目的

- ・生活支援体制整備事業への理解を深めるとともに、地域への入り方や交わり方、資源を探す・活かすコツ、地域アセスメント等について、先輩生活支援コーディネーター等の実践から学ぶ。
- ・グループワークを通して他者の考え方や意見に触れ、日頃の悩みや思いを共有することで、明日からの活動の活力を得る。

2 対象者（定員：50名程度 ※【活動編】の会場参加は35名まで(先着順)。）

次の(1)(2)の全てを満たす者

- (1) **【制度学習編】・【活動編】の両日程に参加可能な者**
- (2) 生活支援コーディネーターに選任された3年未満の者（目安）、生活支援コーディネーターに選任される予定の者、生活支援体制整備事業担当の市町職員、県保健所（支所）の新任職員

※【制度学習編】11:40～12:00説明会に限り、(1)～(4)以外の生活支援体制整備事業関係者も聴講可能です。

3 日程及び開催方法

	日程	開催方法
制度学習編	令和6年6月17日（月）9時30分～12時00分	ZoomMeeting（以下「オンライン」という。）
活動編	令和6年6月28日（金）13時00分～16時30分	ハイブリッド開催 会場：広島県医師会館301会議室（広島市東区二葉の里3-2-3）

4 内容・講師等（予定）

※今後、内容や構成等を一部変更する場合があります。

【制度学習編】令和6年6月17日（月）

9:10	9:30	9:35	10:05	11:30	11:40	12:00
受付	開会	行政説明	講義 (途中休憩含む)	質疑 応答	次回 説明	説明会 閉会

※11:40～12:00 は地域共生社会に向けて重層的支援体制整備事業の中で取り組む生活支援体制整備事業に関する説明会で、聴講は任意です。

行政説明

「広島県の生活支援体制整備の取組状況と市町支援について」

講師：広島県健康福祉局地域共生社会推進課 主任 ^{やまべ}山邊 ^{なごみ}なごみ 氏

講義

「生活支援体制整備事業って？」

講師：広島県地域包括ケア推進センター 次長 ^{ふじわら}藤原 ^{かおる}薫 氏

説明会(任意)

「地域共生社会について～重層的支援体制整備事業と生活支援体制整備事業～」

講師：広島県地域包括ケア推進センター 次長 ^{ふじわら}藤原 ^{かおる}薫 氏

【活動編】令和6年6月28日（金）

12:40	12:55	13:00	13:05	13:45	14:45	14:55	16:00	16:30
受付	オリエン テーション	開会	実践報告	座談会	質疑 応答	休憩 グループ ワーク	グループ 発表	閉会

実践報告

「地域とつながり、地域をつなげる」

講師：倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課 倉敷市第1層生活支援コーディネーター ^{まつもと}松本 ^{かずのり}和徳 氏

座談会

「SC1年目の活動の振り返りとこれから」

コーディネーター：坂町地域包括支援センター センター長 ^{きのした}木下 ^{けんいち}健一 氏

活動報告者：海田町社会福祉協議会 海田町第1層生活支援コーディネーター ^{さかもと}坂本 ^{まき}真紀 氏

竹原市地域支えあい推進課 竹原市第1層生活支援コーディネーター ^{ささき}佐々木 ^{せつみ}節美 氏

広島市段原地域包括支援センター 広島市第2層生活支援コーディネーター ^{はまだ}濱田 ^{としひろ}利大 氏

グループワーク

「明日からの自分に向けて、声に出して言ってみよう！」

「生活支援体制整備 新任あるある!？」

※各グループのファシリテーターは、県内の先輩生活支援コーディネーターに依頼予定です。

※行政職員には、各グループの傍聴後、行政職員同士で意見交換をしていただく予定です。

5 注意事項

● **オンライン参加時**は次の (1) ~ (5) にご注意ください。

- (1) 事前に別紙「**オンライン研修受講の注意事項**」を確認の上、申し込んでください。
- (2) **研修の一部については、広島県地域包括ケア推進センター（以下「当センター」という。）主催研修等に活用するため、録画します。** 予めご了承ください。
- (3) 受信障害の起きない静かな環境での受講をお願いします。
両日程とも、タブレットやスマートフォンは通信が切断する可能性が高い、画面共有された資料が小さく見づらい、画面に表示される人数が少なくグループワークに向かない等の理由から、できるだけパソコンでの参加をお願いします。
- (4) 2日目【活動編】は**グループワークを行うため、原則1人1台のカメラ・マイク機能付きの端末機器を使用し周囲の音が入らない環境での受講をお願いします。**
- (5) **事前の接続トライアルは実施しませんので、研修当日までに当センターホームページ（各種研修情報>研修の開催情報>本研修）に掲載の「Zoom ミーティング接続マニュアル」をご確認ください。**

※Zoomのアプリインストール及びセルフテストについて（お願い）

- WEB ブラウザからの参加では機能制限により受講が不十分となる場合があるため、**アプリからの参加を推奨します。** 参加する前に**アプリは最新バージョンにアップデート**して下さるようお願いいたします。
- 次の URL またはアプリの設定より、ご使用予定の端末等で、ビデオ・スピーカー・マイクが正常に作動するかどうかセルフテストを済ませてから研修当日はご参加くださるようお願いいたします。

URL : <https://zoom.us/test>

● **2日目【活動編】会場参加時**は次の (1) ~ (3) にご注意ください。

- (1) 高齢の方と関わる機会が多い参加者の特性、グループワークを行うこと等を踏まえて、マスクの着用、咳エチケット、手洗い・手指消毒にご協力をお願いします。
- (2) 発熱・風邪症状等がある場合は、欠席またはオンライン参加への変更等の対応をお願いします。
- (3) 会場の駐車場はご利用いただけません。公共交通機関もしくは近隣有料駐車場をご利用ください。会場へのアクセスマップは次の URL（広島県医師会ホームページ）からご確認ください。

URL : <https://www.hiroshima.med.or.jp/ishikai/map/>

● いずれも研修を受講するために必要な「研修招待メール」を通知いたします。併せて、研修資料のダウンロード方法をお知らせしますので各自印刷してください。

2日目【活動編】の参加方法の変更をご希望の場合は、グループワークのグループ編成の都合上、できるだけ早めに「10 問合せ先」までご連絡ください。

● 2日目【活動編】の連絡先について

研修2日目【活動編】は、当センター担当者は研修会場での準備・運営にあたるため、次の番号にお電話ください。

- ・ 11時00分～研修終了まで  **080-3885-6493**
- ・ 8時30分～17時15分までの上記以外の時間  **082-569-6493**

6 申込期間 令和6年5月15日(水)9時00分～令和6年6月3日(月)17時00分

7 申込方法

当センターホームページ(各種研修情報>研修の開催情報>本研修)に掲載の「研修申込フォーム」から必要事項を記入の上、次の(1)から(4)に注意して申し込んでください。

U R L : https://www.chiikihoukatsucare.net/p02kensyu_kiji.php?id=142

QRコード :



- (1) **研修参加 ▶ 2日目の参加方法により研修申込フォームが異なりますのでご注意ください。**
説明会への参加は任意で、別途申込は不要です。
説明会のみ参加 ▶ 上記URLのページ下部掲載の申込フォームから事前申込が必要です。
- (2) 研修申込フォームの送信後、申込受付のメールが自動配信されます。パソコン、スマートフォン、携帯電話の設定で迷惑メール対策としてドメイン指定受信設定をされている方は、当センタードメイン「hiroshima-hm.or.jp」からのメールが受信できるように設定してください。
- (3) 自動返信メールの送信先をフリーメールアドレス(Gmail/Yahoo!メール/hotmail等)にしている場合は、自動返信メールがフィルタリング機能により、迷惑メールフォルダ又は削除フォルダに振り分けられる可能性があります。
- (4) 自動返信メールが届かない場合は、申込受付が完了していない可能性があります。その場合は「10問合せ先」まで必ず連絡してください。

8 受講決定

受付期間内であっても、研修申込フォームで定員に達した場合は、申込を締め切ります。研修申込フォームで受付され、自動返信メールが届いた方は受講できます。

9 個人情報の取扱い

研修申込フォームに記載された個人情報は、この研修の実施に必要な範囲に限り利用させていただきます。

10 問合せ先

広島県地域包括ケア推進センター(担当:石川・田中・藤原)
〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目2-3 広島県医師会館4階
電話 : 082-569-6493
F A X : 082-569-6494
メールアドレス : hokatsu-kensyu@hiroshima-hm.or.jp

※メールでお問い合わせの場合、件名に「令和6年度生活支援コーディネーター養成研修について」と記入してください。

オンライン研修受講の注意事項

令和6年4月

広島県地域包括ケア推進センター（以下「推進センター」という。）が行うオンライン研修は、Zoom Meeting（以下「Zoom」という。）を利用します。

1 端末及びネットワーク環境の準備

- (1) 研修は、パソコン又はタブレット等で受講できますが、できるだけパソコンの使用をお願いします。タブレットやスマートフォンは通信が切断する可能性が高い、画面共有された資料が小さく見づらい、画面に表示される人数が少なくグループワークに向かない等の理由から使用を推奨しません。
(研修によってはマイクやカメラが必要になります。各研修実施要領で案内します。)
- (2) 最新バージョンの Zoom アプリからの参加を推奨します。
次の URL で、Zoom アプリをダウンロード・インストールができます。ウェブブラウザや旧バージョンからの参加では、機能制限により受講が不十分となる場合がありますので、できるだけ最新バージョンの Zoom アプリから受講してください。
URL : <https://zoom.us/download>
- (3) Zoom アプリの更新情報
最新の更新情報は、Zoom の公式サポートページ「[Zoom クライアントのリリースノート - カスタマーサポート](#)」から確認してください。最新バージョンに更新する方法は、推進センター主催研修「Zoom ミーティング接続マニュアル」に掲載しています。
- (4) Zoom アプリのシステム要件
最新のシステム要件は、Zoom の公式サポートページ「[Zoom のシステム要件: Windows、macOS、Linux - カスタマーサポート](#)」から確認してください。
- (5) 受信状況が良好な環境で受講してください。
インターネット環境による通信不良や通信切断、Zoom アプリの障害等により受講できない場合は、推進センターは責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- (6) 通信料は受講者の負担になります。
- (7) 受講確認が必要な研修では、1人1台のカメラ機能付きの端末機器が必要となります。
「画面から顔が見えない」、「移動しながら受講している」、「研修受講以外の行動をしながら受講している」など研修受講態度に不適切と思われる行動が見られた場合には、受講者に改善を求めます。行動に改善が見られない場合は、研修修了とは認められないことがありますので、あらかじめ了承してください。
- (8) グループワークを行う場合は、マイク及びカメラ機能付きの端末機器が必要となります。
1人1台の端末機器による視聴か同一端末で複数名視聴の可否については、各研修実施要領で案内します。

2 研修の妨害やプライバシーの侵害を招く恐れのある行為の禁止

- (1) 第三者との「招待メール」の URL の共有や貸与、SNS を含む他の媒体への転載、また、研修の教材を受講目的以外で使用することは、不法行為や著作権の侵害になりますので固くお断りいたします。
- (2) 録音、写真撮影、動画撮影、画面キャプチャーは固くお断りします。

3 その他

- (1) 研修内容の向上や後日再配信等を目的に、研修内容を録画することがありますので、あらかじめ了承してください。
- (2) 講師及び受講者の氏名や映像が画面に映し出されることがありますので、あらかじめ了承してください。
- (3) 研修資料は、各自でホームページ等各研修で案内する方法からダウンロードして準備してください。研修によっては、ページ数や冊数が多くなることもあります。

(4) Zoom のセルフテストについて (お願い)

Zoom は次の URL もしくは Zoom アプリの設定で、ビデオ・スピーカー・マイクのセルフテストができます。研修の参加までに、ビデオやスピーカー・マイクが正常に作動するかどうか確認を済ませておいてください。

URL : <https://zoom.us/test>

(5) 不明な点は、推進センターまで連絡してください。

問合先 広島県地域包括ケア推進センター

電話 (082) 569-6493 E-Mail : hokatsu-kensyu@hiroshima-hm.or.jp